

Y11b 天文学史教育研究の場でのデジタルアーカイブの利活用実践

玉澤春史（東京大学）

日本学術会議が2016年に公開した報告「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 物理学・天文学分野」において、「獲得すべき知識と理解」として物理学や天文学の理工学的内容に加えて物理学概念の形成の歴史や天文学が誕生した歴史的背景、観測事実に基づく現代の宇宙観への変遷といった科学史的内容にも言及されている。特に科学史的内容については共通教育で触れる機会も重要であるが、座学による内容が主となりがちで、学生による主体的な学びの機会をどのように確保するかが課題である。講演者が2021年度より担当している科学史に関する大学の共通教育提供と科学史についての授業では、当初オンライン授業における作業機会の提供としてデジタルアーカイブを利用した課題を設定した。授業が2023年度より対面開催に変更されたのちでも継続して実施しており、課題の履行状況や内容理解においてオンラインと対面での学生側の反応、および回答の傾向に大きく変化はみられず、学生側へのレポート作成などで信頼性の高い情報源に触れる機会の提供となっているとともに、デジタルアーカイブを通じた科学史・天文学史研究の一端を紹介できる機会となっている。